

TOPPAN

と
たくみ

豆本？どころではありません。縦横の幅、わずか0.75ミリ。厚さ0.04ミリの革表紙をピンセットでめくっていくと、20頁にわたり四季折々の小さな草花が美しく咲いています。2012年にトッパンが限定250部で制作したマイクロブック「四季の草花」。最も小さい印刷本としてギネス世界記録™に認定されました。といっても、つくり方は普通の本と変わりません。違いは、ひとつひとつの工程に、トッパン独自の技術が凝縮されているということ。原版は、半導体等のエレクトロニクス製品をつくる最先端のレーザー描画機で作成。超微細な印刷を実現

しているのは、紙幣や有価証券の印刷技術。これはトッパンが手がけてきた印刷の中でもハイレベルな領域で、文字の線幅はわずか0.01ミリほど。それは、偽造を許さない極限の精巧さで版の彫刻を行う匠の技があっただけで、可能なのです。この小さな小さな本を印刷すること、つくることは、技術のさらなる研鑽であると同時に、自分たちの原点を再確認するためでもあります。この「四季の草花」、トッパンの印刷博物館で実際に展示、販売しています。お値段はルーペ付きで30,240円。残りわずか(16年11月現在)です。お早めに！

TOPPAN

<http://www.toppan.co.jp>